202302KeMCo

View Report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

KeMCo

慶應義塾のうさぎが大集合した「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地」は好評開催中です。特別企画「鏡花のお気に入りたち」では、初出の資料も紹介しております。他にも、鏡花遺品のかわいらしいうさぎコレクションは必見です。
展覧会は2月9日（木）までとなっております。どうぞお見逃しなく。

KeMCoの近況

【2月9日まで】KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地　特別企画 鏡花のお気に入りたち

New Year's Card from KeMCo
2023
お好きなカードを選んで、
Room2にお持ちください

新年の干支にちなんだ展覧会「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地　特別企画 鏡花のお気に入りたち」はご覧いただけましたでしょうか。
身近なペットやキャラクターとして親しまれているうさぎですが、歴史の中で人間とうさぎはどのように関わってきたのか、本展覧会では垣間見ることができます。
昨年の「KeMCo新春展2022 虎の棲む空き地」に続き、ご来場の方には記念にポストカードを差し上げております。ぜひお越しください。

KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地
特別企画 鏡花のお気に入りたち

会期｜2023年1月10日（火）～ 2月9日（木）（土日休館）
※2月4日（土）は特別開館
開館時間｜11:00～18:00
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料（事前予約不要）

主な出品作品｜
『かちかちやま』Y. Nishinomiya発行、1886年
『寓話』ラ・フォンテーヌ著、1668年
《月宮文八稜鏡》唐時代（7世紀）
《薄兎蒔絵鏡箱》江戸時代（17世紀）
漢詩 「無所思還有所思…」福澤諭吉筆、1883年
『閑暇のための動物奇態図譜』マイアー著、1752年
『ラテン語時禱書』15世紀後半
《クロマトポイエマ》飯田善國・西脇順三郎、1972年
〈土方巽と日本人一肉体の叛乱〉馬鹿王の行列 写真、羽永光利、1968年
《水晶の兎》

《大兎の手炙り》
《泉鏡花のペンケース》
『鏡花選集』画稿、小村雪岱筆、1915年

KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地

【受付終了】トーク・イベント「泉鏡花とたそがれの味Ⅰ：鏡花とうさぎと三田の文人たちと」

150
鏡花生誕150年
KeMCo
Keio Museum Commons
慶應義塾ミュージアム・コモンズ
×

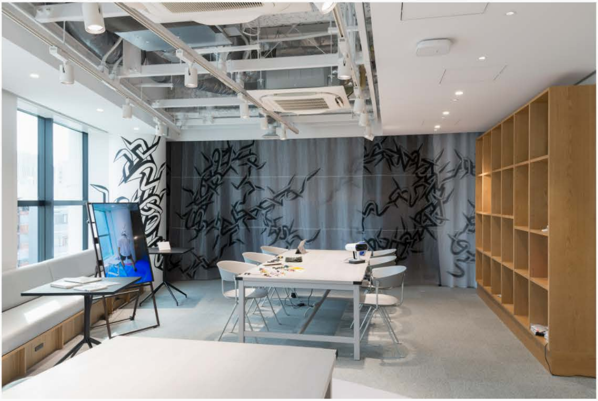
2023年は泉鏡花の生誕150年です。「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地　特別企画 鏡花のお気に入りたち」関連企画として、泉鏡花記念館にご協力いただき、鏡花と三田文学の作家たちについてのトーク・イベントを開催します。

トーク・イベント「泉鏡花とたそがれの味Ⅰ：鏡花とうさぎと三田の文人たちと」

登壇者：穴倉玉日（泉鏡花記念館 学芸員）、ピーター・バナード（慶應義塾大学文学部 助教）
日時：2023年2月4日（土） 13:30–15:00 [無料、事前予約制]
会場：慶應義塾大学三田キャンパス G-Lab（東館6階）

トーク・イベント 「泉鏡花とたそがれの味Ⅰ：鏡花とうさぎと三田の文人たちと」

【2月9日】KeMCo StudI/O特別開室を行います



artwork: © Enrico Isamu Oyama photo: © Katsura Muramatsu(Calo works)

「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地　特別企画 鏡花のお気に入りたち」会期最終日の2月9日（木）に、KeMCo StudI/Oを特別開室いたします。大山エンリコイサム氏の《FFIGURATI #314》をご覧いただけるほか、KeMCo StudI/Oの設備や活動を紹介いたします。

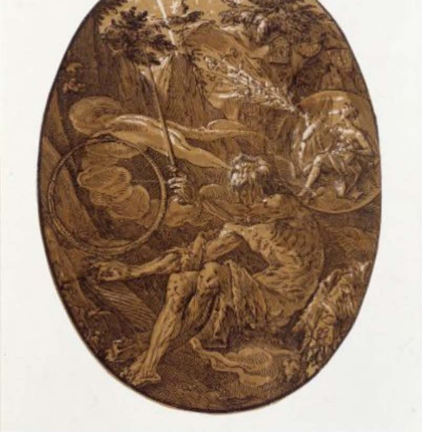
KeMCo StudI/O特別開室

日時：2023年2月9日（木） 11:00–18:00

※開室日時は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください

展示室より、推しモノ #15

Feedback



ヘンドリック・ホルツィウス《永遠の洞穴にいるデモゴルゴン》、1588-90年頃、文学部美学美術史学専攻

現在開催中の「うさぎの潜む空き地」展から16世紀オランダの画家・版画家ヘンドリック・ホルツィウス(1558-1617年)の作品《永遠の洞穴にいるデモゴルゴン》（1588-90年頃）をご紹介いたします！黒い線に全体を彩る黄色が印象的なこの作品は、キアロスクーロ版画と呼ばれる木版画の技法の一種で制作されています。「キアロスクーロ」とは、
イタリア語で「明暗」のこと。デューラーに代表される西洋版画の歴史では「線」で陰影を表すのが伝統的でしたが、「面」で影を表そうとしたこの時代の取り組みを見ることができます。しかし、うさぎはどこにいるのでしょうか。正解は、画面右側、シャボン玉の中に座す女神ケレスが発射している不思議な鉄砲（？）のなかに草花やカエル、獣にまぎれて後ろ姿のうさぎが小さく描かれています。展示室ではほかにもうさぎの潜む作品に出会えますので是非彼らに会いに来てください！

山田 桂子（KeMCo学芸員補）

空き地

こんにちは！KeMCoMの行徳です。現在私は４年生で、うさぎの潜む空き地展は卒業前に関わる最後の展覧会です。さてさて、そんなうさぎ展では、魅力あふれるKeMCoM企画が展開されています！

Room2に入室するとまず目に留まるのが、オリジナルのInstagramフィルター。起動してスマホを動かすと、まるで作品の中に入り込んだかのような没入感を味わえます。

次の見せ場は「KeMCoMウサギ総選挙」。KeMCoMが描いた８種類のうさぎの中からお客様に推しを選出・投票してもらいます。画風にKeMCoMの個性が現れているだけでなく、お客様の好みも反映され、皆のセンスが可視化されるのも興味深い点です。

その斜め後ろに構えるのが「兎の潜むおみくじ」。昔はおみくじには吉凶でなく和歌が記載され、その内容がお告げや戒めの役割を果たしていたんだとか。現在は和歌の部分が

省略されたおみくじも散見される中、ここではオーソドックスなおみくじが体験できます。ちなみに、紙や和歌もKeMCoMがこだわって選び抜きました。
　最後のメインは「みんなの書き初め2023」。来館した皆様にイラストや他言語をも駆使して書き初めをしていただき、完成品をスキャンし壁に投影することで視覚的にもお正月気分を味わえます。小さな来館者さんが覚えたての干支をひらがなで書いてくれた作品も…！
　実はこうした数々の企画も、2022年度の新春展で用いた技術を活用しているからこそ実現可能となっています。自分の卒業後にも、過去のかけらが姿かたちを変えて様々な文脈で未来に受け継がれていけば嬉しいな、と考えています。

行徳　可南子（KeMCoM）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

「アート・アーカイヴ資料展XXIV：西脇順三郎没後40年記念展 「フローラの旅」」
1月16日（月）–3月17日（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

「慶應義塾福澤研究センター新収資料展2023」
1月10日（月）–**2月4日（土）**[予約推奨]
主催・会場｜福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館（慶應義塾図書館旧館2階）

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2023*年*3*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2023 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan